



かながわ医療的ケア児支援センター について



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

Kanagawa Prefectural Government

神奈川県福祉子どもみらい局
障害福祉課

1 神奈川県での医療的ケア児を取り巻く状況

※ 全て神奈川県値

医療的ケア児の人数（推計値） 872名（令和5年度）

※ こども医療センターの医療機関ネットワークを活用し、県内の研修指定医療機関38箇所へ調査票を配布し、調査を実施。

※ 調査対象は配付38機関+こども医療センターの計39機関

対 象：外来で在宅療養指導管理料を算定している18歳以下の患者

質問項目：診療報酬別の算定件数

医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者 135名（令和5年度）

医療的ケア児通学支援 県立特別支援学校17校で実施 33名が利用（令和5年度）

NICUを有する医療機関数 25施設（令和5年3月31日現在）

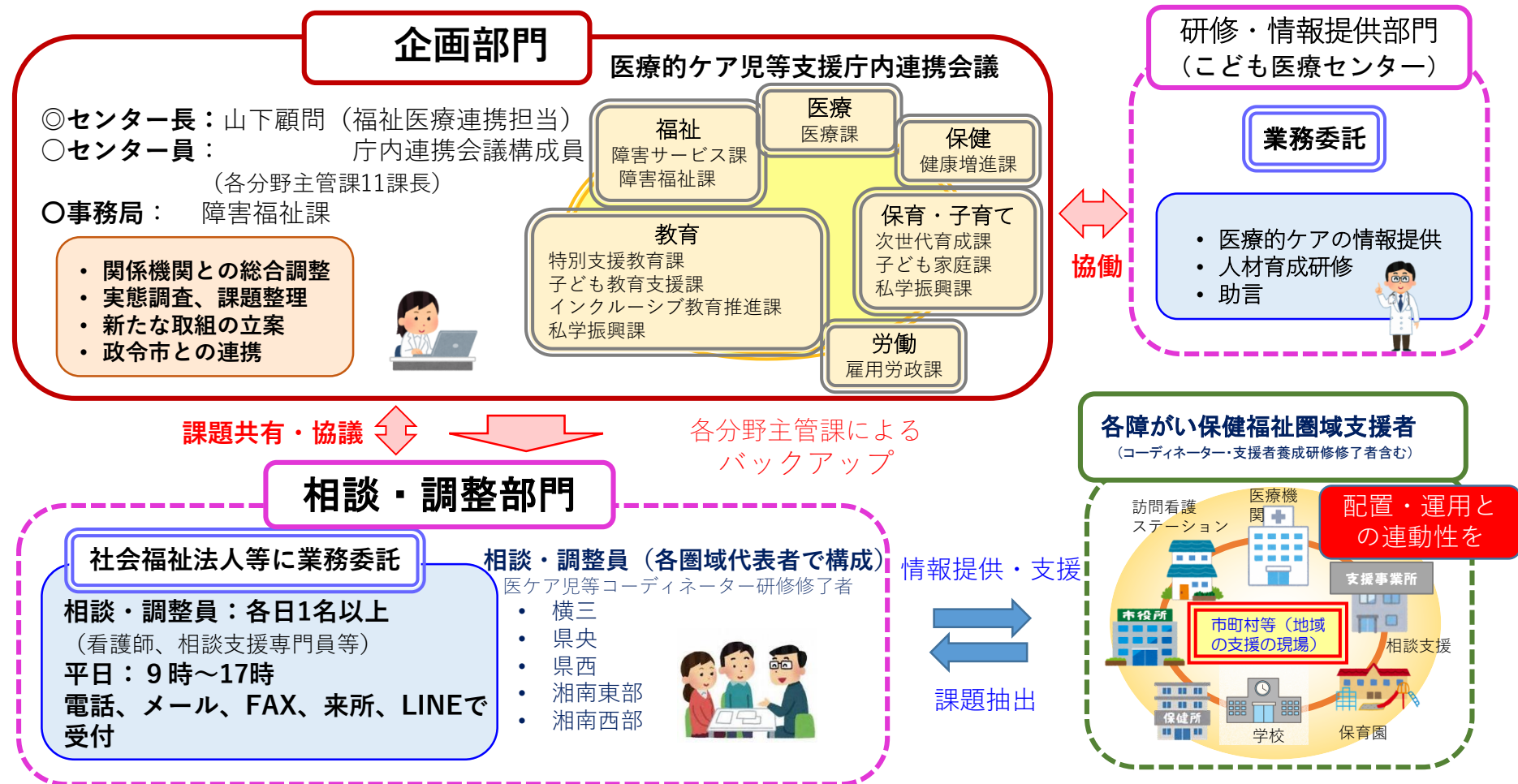
※ 厚生労働省調査の「周産期医療体制に係る調査及び周産期母子医療センターの評価」の数値を記載。

NICUにおける病床数 237床（令和5年3月31日現在）

※ 厚生労働省調査の「周産期医療体制に係る調査及び周産期母子医療センターの評価」の数値を記載。

2 かながわ医療的ケア児支援・情報センターについて（令和4年度）

かながわ医療的ケア児支援・情報センターの体制（令和4年5月31日開設）



3 かながわ医療的ケア児支援センターについて（令和5年度～）

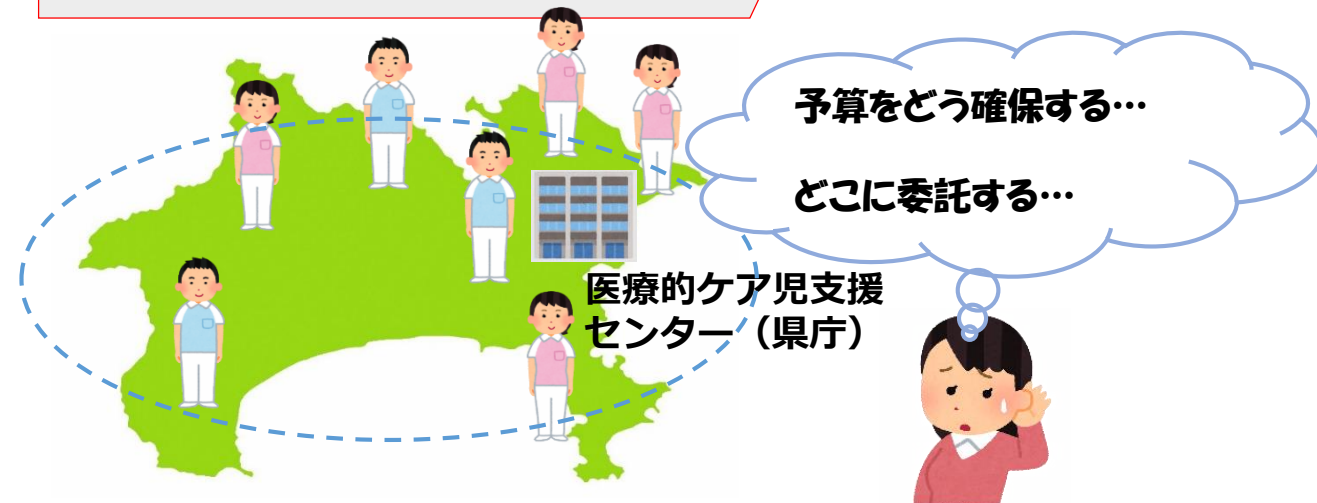
R4年度体制の課題

- 県庁1か所では地域の相談に対応できない。
- 地域の支援者支援が行き届かない。
- 市町村によりコーディネーター配置、医ケア児支援策にレベル差がある。
- 政令市との関係が不透明



R5年度体制の方向性

- 「身近な地域で相談を受ける」という原則に基づき、各圏域にブランチを設置、政令市と連携。
- 市町村配置のコーディネーターについては、圏域単位でコーディネーター支援、支援者支援を行う。
- 政令市と圏域の相談員（主任コーディネーター）で調整・情報共有し、施策等に反映



3 かながわ医療的ケア児支援センターについて（令和5年度～）

令和5年度以降の体制

横浜市

川崎市

相模原市

神奈川県

かながわ医療的ケア児支援センター

総合事務局：県障害福祉課

- 企画（庁内会議、政令市連絡会議）
- 人材育成（関係機関との連携）

鶴見区コーディネーター拠点

南区コーディネーター拠点

旭区コーディネーター拠点

磯子区コーディネーター拠点

青葉区コーディネーター拠点

都筑区コーディネーター拠点

総合リハビリテーション推進センター

地域相談支援センターそれいゆ

緑障害者相談支援キーステーション

中央障害者相談支援キーステーション

南障害者相談支援キーステーション

横須賀・三浦圏域

湘南東部圏域

湘南西部圏域

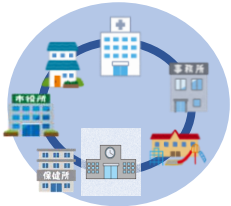
県央圏域

県西圏域

主任コーディネーター

各圏域・市町村で配置するコーディネーター

地域資源



行政を含む地域支援者
医療、保健、療育、保育、教育、福祉、等々

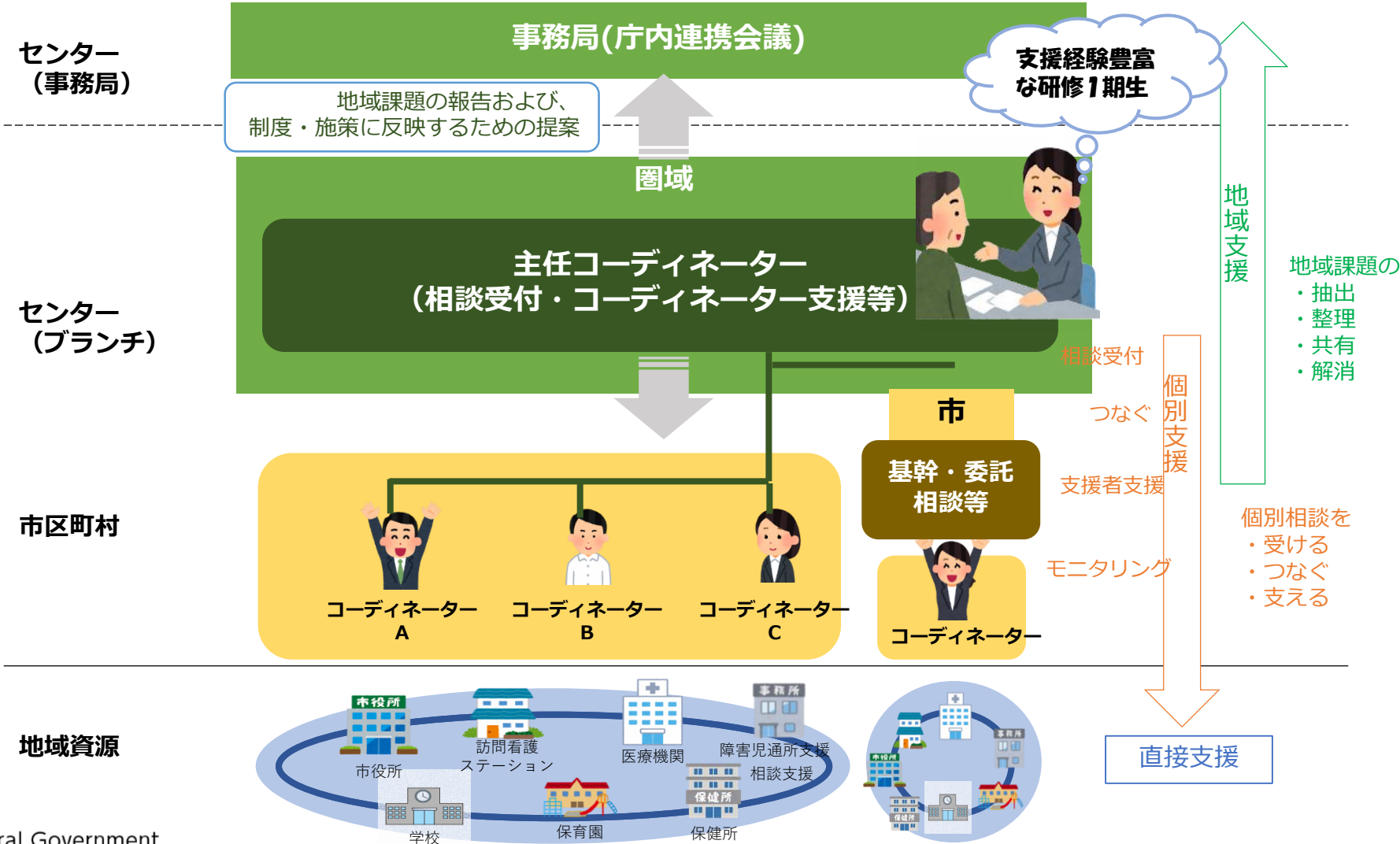
<相談者窓口> 医療的ケア児とその家族及び支援者からの相談を受け、その内容から適切なサービス・支援に繋ぐ

<支援者支援> 医療的ケア児に関わる支援者に対して助言を行う。

<地域支援> 個別支援を通じて抽出された地域課題を共有し、施策につなげる。
(関わった事例から得られた課題を上に掲げていく) ※横のつながりは、自立支援協議会等でも共有する。

3 かながわ医療的ケア児支援センターについて（令和5年度～）

圏域内の体制



3 かながわ医療的ケア児支援センターについて（令和5年度～）

相談件数 77件（完了 36件、継続 36件、経過観察 5件（令和6年3月31日現在））

（参考：令和4年度）相談件数 52件（完了 34件、継続 14件、経過観察 4件（令和5年3月31日現在））

（1）圏域別件数

圏域	市町村
横須賀・三浦圏域 17件	横須賀市 7件、鎌倉市 7件、逗子市 3件、三浦市 0件、 葉山町 0件
湘南東部圏域 16件	藤沢市 13件、茅ヶ崎市 2件、寒川町 1件
湘南西部圏域 16件	平塚市 3件、秦野市 11件、伊勢原市 1件、大磯町 1件、 二宮町 0件
県央圏域 9件	厚木市 7件、大和市 0件、海老名市 0件、座間市 1件、 綾瀬市 1件、愛川町 0件、清川村 0件
県西圏域 9件	小田原市 5件、南足柄市 1件、中井町 1件、大井町 0件、 松田町 0件、山北町 0件、開成町 1件、箱根町 0件、 真鶴町 1件、湯河原町 0件
政令市・その他 10件	横浜市 5件、川崎 1件、相模原市 1件、県外 1件、不明 2件

3 かながわ医療的ケア児支援センターについて（令和5年度～）

- (2) 相談方法 電話 59件、LINE 10件、メール 1件、その他（対面等）7件
- (3) 相談種別 親・親族 25件、支援者 51件、不明 1件
- (4) 相談内容（主訴別：140件の内訳）

相談内容	件数
退院調整（在宅移行支援）	15件
退院調整（施設移行・入所支援）	2件
在宅生活（転居支援、訪問医・訪問看護等）	6件
レスパイト	17件
障害福祉サービス（相談支援）	10件
障害福祉サービス（地域生活支援）	1件
障害福祉サービス（その他）	8件
制度（相談、支援、養成等）	15件

令和4年度

- (2) 相談方法 電話 34件、LINE 8件、メール 3件、その他（対面等）7件
- (3) 相談種別 親・親族 30件、支援者 22件
- (4) 相談内容（主訴別：68件）

（次ページに続く）

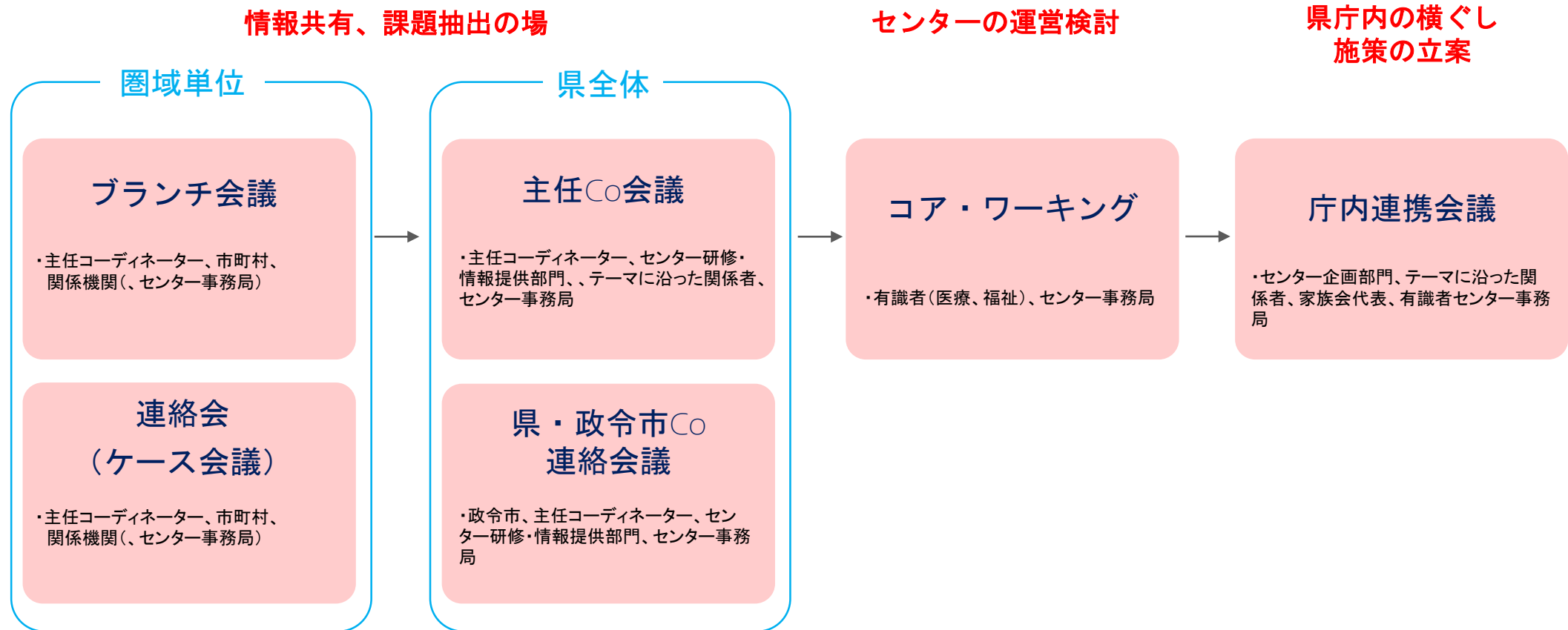
3 かながわ医療的ケア児支援センターについて（令和5年度～）

（前ページの続き）

相談内容	件数
児童発達支援に関すること	5件
入園に関すること(保育園・幼稚園)	20件
就学に関すること（特支(小)・(小)普通級・(小)支援級）	6件
進学に関すること（特支(中)・(中)普通級・(中)支援級）	0件
進学に関すること（特支(高)）	2件
学校生活に関すること（特支(小)・(小)普通級・(中)普通級・(中)支援級・特支(高)）	7件
通学支援・移動支援に関すること	4件
放課後デイサービスに関すること	2件
その他（社会資源、家族支援、地域課題、学校看護師の採用・募集、成人以降支援）	20件
合計	140件

3 かながわ医療的ケア児支援センターについて（令和5年度～）

連携のための会議



4 かながわ医療的ケア児支援センターの取組と今後の方向性

圏域ごとのランチ設置の効果

身近な地域で相談できる

- 圏域内の関係機関で連携しやすくなった。
- アウトリーチしやすくなった。
- 地域課題や市町村別の課題が見えてきた。

➡ 圏域ごとの取組

会議実施により顕在化した課題と対応

- | | |
|--------------------|------------------|
| ○ 医ケア児支援に係る施策上の課題 | ➡ 各課の施策 |
| ○ 医ケア児支援における連携不足の面 | ➡ 防災関係、家族会との連携拡充 |
| ○ 分野別課題の協議の必要性 | ➡ 会議におけるテーマ設定と検討 |

4 かながわ医療的ケア児支援センターの取組と今後の方向性

圏域ごとの取組

- 圏域内**市町村データ、取組の共有** ➡ **各市町村の意識**の変化
- 家族会と共催での**交流会**開催 ➡ 各市町村が**ニーズ等を把握**
- 医ケア児等**Co連絡会**開催 ➡ **コーディネーターの連携強化**
- 個別分野の**研修会**実施 ➡ **支援者の意識・資質の向上**
- **市町村への個別訪問**(保福事務所と合同) ➡ **関係機関の連携の強化**

主な課題と各課の施策

レスパイト先がない

- 在宅で生活する医療的ケア児の介助を行う家族の休息（レスパイト）がとれない
 - ➡ 医療的ケア児在宅レスパイト事業、
障害児等メディカルショートステイ運営事業 など

保育園・幼稚園に入れない

- 医療的ケア児を受けいてくれる保育園や幼稚園が見つからない
 - ➡ 医療的ケア児受入促進事業、医療的ケア児保育支援事業 など

学校に通うための親の負担が大きい

- 車での送り迎えが必要だったり、学校での付き添いが必要だったりする
 - ➡ 医療的ケア支援体制整備事業 など

4 かながわ医療的ケア児支援センターの取組と今後の方向性

今後の課題

主任Coへの業務の集中

市町村配置Coとの役割整理

情報発信

積極的な情報発信

養成研修

効果的な研修プログラムの検討

実態把握

人数把握、家族会との連携強化

**仕組みづくりを
検討中**

行政の関与を減らして
センターが自走化する体制づくり